別記様式

会　議　録

会議の名称	平成２９年度　第１回戸田市総合介護福祉市民協議会
開催日時	平成２９年４月２６日（水）　午後２時３０分～午後４時００分
開催場所	戸田市役所　１階　東側休憩室
委員長等氏名	嶋田会長、早舩副会長
出席者氏名（委員）	嶋田会長、西塔委員、武内委員、西山委員、市瀬委員 磯島委員、石川委員、福本委員、松山委員、久川委員
欠席者氏名（委員）	早舩副会長、日沖委員
事務局	吉野次長、江口課長、野口主幹、林副主幹、渡邉副主幹、七種主任
議題	１　第６期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画実施後の報告について ２　第７期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）の諮問について ３　介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の報告について ４　平成２９年度地域密着型サービス事業所の指定について ５　その他
会議結果	第６期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画実施に関する報告を行うとともに、第７期計画策定に係る協議会への諮問について承認を受ける。 また、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果を報告し、地域密着型サービス事業の指定については、すでに公募時に承認を得ている新設事業所及び更新予定の事業所について、６月の会議に諮る予定である旨の報告を行った。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	別添のとおり
議事録確定	平成２９年 5 月 22 日　　委員長等氏名　嶋田美津江　㊞

（会議の経過）

発　言　者	議題・発言内容・決定事項
	１　協議会の開会 ○傍聴人がいないことを確認。 ２　会長あいさつ ３　協議事項 （１）第６期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画実施後の報告について ○資料１に基づいて説明。介護保険事業について、介護保険認定者数や介護給付費、介護保険料の推移を説明。高齢者福祉事業については、第６期計画にて見直しを実施した事業の経過や、今後見直しが必要と思われる事業について報告。地域支援事業（地域包括ケアシステム）について、第６期での実施内容の報告や、第７期計画での実施予定内容を説明。 ＜質疑＞
委員	介護保険料の推移が第５期から第６期にかけて大きく上がっているが、保険料の設定は市町村で調整できるものではないのか。
事務局	介護保険料は各市町村が設定する。本市では第５期での介護給付費が大きく上昇し、第６期についてもさらなる上昇が想定されたため、それに伴い介護保険料も上げた経緯がある。
委員	それでは、介護給付費が上がっていくほど、介護保険料も上がってしまうということか。上限額等はあるのか。
事務局	介護給付費に比例して上昇してしまうため、上限等はない。地域包括ケアシステムを構築し、地域の方の協力により、介護保険法で定めるサービスに類似したサービスを地域で行えるようにすることで、介護保険料等の上昇を抑制していくことが必要となる。
委員	資料１の要介護認定者数の推移の項目だが、「伸び率」という表現でなく、「前年比」等の表現が適切ではないか。また、示されている認定率とはどう

	いった数字なのか。
事務局	まず、認定率とは第1号被保険者の数に占める要介護認定者数の割合を表したものである。「伸び率」という表現は、次回以降の資料で修正したい。
委員	戸田市の介護保険料は、県内の他自治体と比較して高いのか。また、どれくらいに抑えられると良いのか、県内平均はどの程度なのか。
事務局	第6期介護保険料の埼玉県平均は、4,835円である。第6期の介護保険給付費は、現段階での推計であるが、第5期ほどの上昇はないため、第6期から7期にかけての介護保険料も6期ほどの上昇はしない見込みである。
委員	毎年市民に贈呈している敬老祝品の商品券はどれくらい使われているのか。
事務局	商品券は8割ほどが利用されていると、商工会から報告を受けている。
委員	利用されていないものは、どうなるのか。
事務局	対象者宅に保管されている等だと思われる。
委員	翌年以降利用することも可能なのか。
事務局	可能である。
委員	店で利用された商品券の換金方法は。
事務局	戸田市商工会にて、換金する。
委員	例えば100万円分商品券を配布して、80万円分しか利用されない場合、差額の20万円はどうなるのか。
事務局	敬老祝品の商品券は、市が商工会から対象者分を購入し、対象者へ送付する形であるため、未利用分は商工会の収入となっている。

委員	地域支援事業に係る第６期の報告書等は出す予定があるか。
事務局	今回は地域包括ケアシステムに係る第６期実施内容や第７期の予定について、概要を報告した。第６期での実施内容を受けて、第７期計画を進めていくが、継続的に事業を実施していくので、報告書という形での作成は考えていない。ただ、時点ごとの進捗状況等は公表していきたいと考えている。
委員	地域支援事業の報告に関し、第７期計画がＴＯＤＡ元気体操の拡充等となっているが、数値目標がなく、何をもって拡充なのか。
事務局	数値目標は各町会に１箇所と考えているが、大きな目標であるため、具体的には示していない。今後、地域の協力を得ながら、開催場所を増やしつつ、参加人数を増やしていきたい。
委員	地域支援事業に関する報告は、具体的な数値が示されていないものが多いが、その点はいかがか。
事務局	今回の資料は概要として報告した。次回の会議以降で具体的な数値等を含めた報告をしたい。
会長	事務局より、次回の会議以降で、順次報告されるということで構わないか。
委員一同	異議なし。
	（２）第７期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（案）の諮問について ○松山福祉部長より、諮問書を会長へ提出する。また、計画（案）の策定に係る今年度の開催スケジュールについて、資料２に基づき説明。
会長	今年度全７回の会議の開催を予定し、第７期計画（案）を策定していくということでよろしいか。
委員一同	異議なし。

	（３）介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果の報告について ○資料３及び調査結果報告書に基づき、説明。 ＜質疑＞
委員	ボランティア活動等に参加している高齢者について、男女比も出してほしい。男性の参加が少ない傾向があると思われるため、数値で男女比を示してほしい。
事務局	次回以降の会議で、集計した結果を示したいと考えている。
委員	報告書で出てくる圏域とは、地域包括支援センターごとの担当圏域ということか。
事務局	そのとおりである。
委員	調査対象である一般高齢者全体の人数は何人なのか。
事務局	概算であるが、２万人程度である。
委員	調査結果はすべて割合で示されているが、回答者数が 1,455 人に対し、全体が２万人程度いるとなると、全体に置き換えると何人くらいと考えるのか。
事務局	全体に対して標本数が充分かというご質問だと思うが、国からもデータの取り方が示されており、それを戸田市に置き換え実施した。標本数 2,323 人に対し回答者 1,455 人で、回答率６割超と高い回答率となっており、充分と考える。
委員	結果から得られた数字で全体を想定していくのに、どう置き換えていくのかを考えるべきではないか。全体に置き換えた時に、およそ何人程度いるといったことを示す必要があるのではないか。
事務局	指摘事項を研究し、必要があれば次回の会議以降で示したい。
委員	調査を行う前に決めておいてほしい。

事務局	調査実施時点では、必要性がないと判断した。
会長	事務局はデータ採取を優先したということだと思う。委員の指摘事項については、事務局にて研究するということで、本報告については、よろしいか。
委員一同	異議なし。
	（3）平成29年度地域密着型サービス事業所の指定について ○資料４に基づき説明。
会長	事務局からの説明でよろしいか。
委員一同	異議なし。
	（4）その他 ○特になし。
	○次回の会議について 平成２９年５月３０日（火）　午後１時３０分から
会長	閉会あいさつ
	４　閉会